

会議録

会議の名称	令和4年度第2回ふじみ野市地域福祉計画審議会			
開催日時	令和4年10月14日(金) 開会時刻 午前10時 閉会時刻 正午			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎3階 A301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	山本 美香	事務局	岩崎 明央
	副会長	岡田 哲郎	事務局	仲野 拓也
	委員	金田 友記	事務局	角張 ちひろ
	委員	柳川 道子	社会福祉協議会	植草 英二
	委員	小林 和恵	ジャパン総研	地引 綾
	委員	小菅 友美	ジャパン総研	新橋 明奈
	委員	村田 和也		
	委員	正田 実		
	委員	小泉 慎介		
	会議の議題	(1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画策定の進捗について (2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画に向けた意見交換		
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	福祉部地域福祉課			
議事の確定	確定年月日	令和4年10月 日		
	記名押印 又は署名	役職名 会長 山本 美香 (印) ※自署の場合は、押印不要です。		

発言の要旨

発言者	発言の要旨
岩崎課長	<p>会議開会に先立ち、事務局より伝達事項がございます。 市では、開かれた市政を推進するため審議会等の会議を公開することとしており、本審議会についても、会議を公開することとなっております。 本日の傍聴希望者はありませんので、このまま会議を開会させていただきます。</p>
岩崎課長	<p>1. 開会 それでは、令和4年度第2回ふじみ野市地域福祉計画審議会を開会します。 本日の審議会委員の出欠状況でございますが、欠席の委員は奈良委員、風間委員、山城委員、今野委員、當麻委員の5名で、出席委員は9名となっております。本審議会の総委員数は14名です。本日の出席委員数は、半数以上が出席されており、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第2項に基づく審議会の開催要件を満たしていることをご報告します。</p> <p>また、本日の審議会には、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第4項の規定により、ふじみ野市社会福祉協議会の職員、また第3期地域福祉計画策定のお手伝いをいただきます、受託業者の株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の職員にも出席いただいておりますので、ご報告します。</p> <p>ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p>
事務局	<p>(事務局より配布資料の確認)</p>
岩崎課長	<p>それでは、次第の「2. 議題」に移ります。 ここからの進行は、ふじみ野市地域福祉審議会条例第6条第1項の規定に基づき、山本会長にお願いしたいと思います。 よろしく願いいたします。</p>
山本会長	<p>2. 議題 (1) 第3期ふじみ野市地域福祉計画策定の進捗について それでは、議題1「第3期ふじみ野市地域福祉計画策定の進捗について」事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(資料No. 1により、市民アンケート、専門職・地域福祉活動関係者アンケートの実施状況を報告)</p>
山本会長	<p>事務局から説明がありましたが、何かご質問や意見等がありますか。</p> <p>アンケートの回収率が少ないということでしたが、前回よりは上回っていることを考えると、ウェブでの回答を可能にしたことが多少効果が出ているのでしょうか。</p>
事務局	<p>全体の3分の1ほどがウェブから回答いただいておりますので、回答のし</p>

	<p>やすさもあって、数値が伸びたのかなと考えています。</p>
山本会長	<p>ありがとうございます。 実際、何歳の人が多いのかというのはこれから出てくるとは思いますが、もう出ていますか。</p>
事務局	<p>現在、結果を入力しているところですので、次の審議会の時にはある程度の速報値や内容をご報告できるかと思えます。</p>
山本会長	<p>わかりました。そういったことがわかってきますと、どの年代がウェブを使っているのかというのもわかって面白いなと思えます。</p>
事務局	<p>紙で回答が届いているものを確認してみますと、50代以上が多く、20代や30代で紙で回答をしている人はあまりいなかった印象です。</p>
山本会長	<p>ありがとうございます。 専門職の方は引き続き回答を受け付けているということなので、もう少し回収率が上がってくることを期待したいと思います。</p> <p>みなさま他にはご質問等ありませんでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>ないようですので、次の議題に進ませていただきます。</p> <p>次に、議題2「第3期ふじみ野市地域福祉計画に向けた意見交換」ということで、本日はグループワークを行いたいと思えます。 初めに事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(グループワークのねらい・目的について説明)</p>
山本会長	<p>今日、出席していただいている方は、色々なところに所属していらっしゃると思いますので、ご自分の中で「こういうところとつながってうまくいった」ですとか「つながっていないのでうまくいってない」というのをお聞かせいただければ、ふじみ野市の中での、本日の配布資料の図にあるようなものが描けていけるのではと思います。うまくいってないのであれば、どうしたらいいのかということが少し出てくるといいかなと考えております。</p> <p>岡田副会長のほうで、何か補足ありますでしょうか。</p>
岡田副会長	<p>特にありませんが、グループワークの中でみなさんから色々教えていただければと思います。</p>
山本会長	<p>それでは、始めてよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。よろしくお願いたします。 (グループワーク用の資材等について説明)</p>

山本会長	<p>(2) 第3期ふじみ野市地域福祉計画に向けた意見交換</p> <p>(「他の団体・組織とのつながり・関わり」の「成功体験」や「うまくいっていないこと」について、各班で、ポストイットへの書き出し作業と整理を行う)</p> <p>それでは、各班でしっかりお話いただけたと思いますので、A班から発表をお願いいたします。</p>
村田委員	<p>【A班の発表】</p> <p>A班の方では、「うまくいっていること」ということで、就職関係で市役所とハローワークのつながりがうまくいっています、ということが挙がりました。</p> <p>あと、民生委員による高齢者の見守りや高齢者の集まるサロンなどで、民生委員と高齢者がつながっています。また、民生委員と生活相談窓口がつながっています。</p> <p>さらに教育機関と高齢者ということで、小中学生に対する高齢者の役割や居場所づくりということでつながっています。また、シルバー人材センターと高齢者は、高齢者の役割や支援でつながっています。</p> <p>防災関係で市役所とボランティア団体とのつながりがありますということと、高齢者の移動手段という点で、タクシー会社と高齢者の相談窓口とのつながりがあります。社会福祉協議会と地域包括支援センター、医療機関と地域包括支援センターがうまくつながっていますということで意見が挙がりました。</p> <p>「うまくいっていないこと」ということで、ハローワーク関係では、事業主の理解不足というのが挙がりました。また、医療機関同士の連携が不足しているので情報がうまく共有できていないということがあります。障がい者の関係では、保育園と幼稚園の連携不足ということも挙がっています。福祉事業者同士の連携の不足も出ているということも挙がりました。団体内の連携に関する認識不足というのもうまくいっていないということと、コーディネイト機能が不足していますということも挙がりました。</p> <p>以上です。</p>
山本会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>こちらの班では、どういう団体同士がうまくつながっているのかということと、うまくつながってないところはどこかということに加えてなぜそれがうまくつながらないかというところを抽出しています。模造紙の真ん中にはそれがどうしてうまくいかないかという、機能にひとつ焦点を当てて、コーディネーションの機能がそれぞれの団体において無いし、認識も無いということで、不足しているのではないかという結論になっております。</p> <p>それでは、B班の発表よろしくをお願いいたします。</p>
金田委員	<p>【B班の発表】</p> <p>B班としては、全体的に「うまくいっていること」と「うまくいっていないこと」がだいたい半々くらいありました。班員の所属する組織としては、私がPTA連合会で、小林委員が外国籍の方の支援や、小菅委員が障がい者支援の方、小泉委員が一般の方と4人で意見を出ささせていただきました。</p>

山本会長	<p>した。</p> <p>貼り出したものを見てもらうと、根本的な人と人とのつながりということで、例えば、外国籍の方であれば、お子さんが市内の小中学校に通っていて、保護者とのつながりができているということや、PTA連合会では新たな活動として合同研修会を開いたり、ホームページを新たに立ち上げるなどうまくいったことです。</p> <p>その中で、できていないこととしては、PTA連合会では脱退する学校がでてきたり、市内19校すべてのPTA会長とのつながりが任期が1年間だと持つのが難しい、自治組織とのつながりというのも低下してしまっています。また、若い世代との交流もなかなかできていないのが現状です。</p> <p>あと、もうひとつのくくりとして、メリットを明確にする、共有・見える関係づくりをするという中で、コロナ禍ではありますが、イベントを通して、顔を合わせて交流することでつながるきっかけになるということもできています。目的と目標をお互いに一致させることができているという意見もありました。</p> <p>住民の立場という点で、分野を越えてつながる、学習会などを地域外の人とも実施されているという意見もありました。あと、障がい者の点では、利用者の作業活動を通して、作業所や利用者をよりみなさんに知ってもらって地域に出て活動する協力をしてもらっているという意見がありました。</p> <p>その中でできていないこととしては、お互いの良さや共通点が共有できずにつながることができていないということです。あとは、それぞれのニーズに合致していないのではないかとこのころです。</p> <p>そして大きなくくりとしては、行政との関わりが弱いのではないかとこのころがありました。不登校児童の数もなかなか減らなかつたり、PTAの活動ともつながりがないので、せっかくなのでPTA会長の経験者であり、市のトップである市長から発信してもらいたいです。できているという点では、協働推進課との協力で外国籍市民について市役所内で情報共有ができているという点です。</p> <p>この他、地域社会の中で一旦孤立してしまうと、地域とのつながりが途絶え、その状況が続いてしまうということが課題として挙がっています。</p> <p>地域支援、日本語学習が必要な外国籍市民の把握もできていないという意見もありました。</p> <p>私自身もこういう場に出ることで、色々な活動されている方がいることを初めて知ることができました。このあたりは、ある程度間を取ってくれる人がいないと、正直わからない。せっかく同じ市で、みなさんボランティアなどの活動をされているので、もっと情報共有ができれば、より良く活動が進められるのではないかなと思いました。</p> <p>このように「良いこと」「悪いこと」がある中で、今回の意見を活かして、まとめて、市全体で動かないと、地域の活動が衰退していきってしまう、もったいない活動も衰退していきってしまうと思います。私もそれは悲しいですし、これからふじみ野市が発展していくには、みんなで手を組んで、やることを明確化して動いていかないといけないと思いました。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、岡田副会長からここまでのまとめをお願いいたします。</p>
------	--

<p>岡田副会長</p>	<p>ここまでで出た意見を見てもみると、やはりふじみ野市の中で積みあがってきた地域の共通課題が大分見えてきたと思います。これは第2期計画からずっと向き合ってきたんですが、なかなか今までのやり方ではきっとそれが突破できないから、またこの場に挙げてきたんだというのがひとつ引き出てきたものだと思います。また、一方で、少数の意見こそ大切に、そこに地域それぞれの立場でみなさんが集まり、代弁していただいた。そしてつながると思わなかったところが、つながる、例えば、障がい者施設の利用者さんの親御さんが外国籍の方が増えている、というのも交流の場がないと気づけないことですね。このように出てきた課題にどのように向き合えるかということが、ふじみ野市の地域力を底上げしていくというところにダイレクトにつながると思います。</p> <p>ここからは、このような課題を関連付けながら、特効薬ではないですけど、突破口となるような仕掛け、それをどのようにアイデア出せるかというのを共有していきたいです。それが第3期計画の市の施策・政策にもつながっていくことになると思います。もう一段階深めての協議をやっていきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>山本会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今、岡田副会長からありましたように、ここからは、先程出てきた様々なうまくいっていないことを解決するためにどうしていったらいいのかということをお互い考えていきたいと思っています。</p> <p>A班の方ですと、理解不足があったり、連携不足があったり、団体内でうまくいっていないことがあったりということがありましたね。B班の方は、メリットをお互い共有できてないんじゃないかとか、そういう情報交換の交流の場がないんじゃないかとか、そういうことも色々出てきたと思いますので、全てがすぐうまくいくわけではないのですが、今日はここで理想を語るような感じになりますが、こういうことをしていったらいいんじゃないのかということをお互い、あまり制限せずに出していきましょう。</p> <p>それでは、よろしくお願いします。</p> <p>(「どのような仕掛けがあれば他の団体・組織とのつながり・関わりがうまくいくか」について、各班で、ポストイットへの書き出し作業と整理を行う。)</p>
<p>山本会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今度はB班から発表していただきましょう。</p>
<p>小泉委員</p>	<p>【B班の発表】</p> <p>ひとつ前の、「うまくいっていること」「うまくいっていないこと」から色々できることはないかと考えていくなかで、具体的にふじみ野市と協力して行っていけること、どうしても行政との関係は大切であるということがB班で共通意見として出ました。ただ、それでも行政の方は平日出勤で土日休みなのでつながるといことが難しい点もまだあります。</p> <p>また、市民の団体の中でも、仕事をしていたりして、活動できる時間がまちまちなので、土日に活動している人もいれば、平日に活動できる人もいます。なかなかうまくいかないのはそういう部分になります。そうすると、コーディネーターという存在はとても重要になってくると思います。</p>

	<p>ただ、コーディネーターをつくれればいいということになっても、コーディネーターという役割が重くなってしまうので、ひとりではなく、専門の部署を作る、会社のような形で作り上げていくという考え方もありますし、コーディネーターというのを細分化して、リーダーの人、インターネットなどの知識に長けている人のように細かく役割を分担して、ひとつのコーディネーター班のようなものを作れば、負担も軽減できるのかなと思いました。</p> <p>そういうような準備をした上で、何をしていきたいかという、つながりを考えた時には、それぞれの団体の魅力を発信していかないと何も伝わらないし、何をしているかわかりません。今、ふじみ野市はアートフェスタをはじめ、私自身の活動で言うと、文化や芸術というところは市民の活動の中で大事にしているところではないかと思うので、そういうものを市の景観の中に存在させていくということができれば、文化的なものが浸透していくことで、「つながる」ということのきっかけになるのではないかと思います。</p> <p>あとは、自分たちの団体だけではなくて色々な団体との関わりに興味を持っていく、個人も団体もそうですが、関わりを自分から持つていくことは大事だと思います。やはり魅力を発信する時には、自分たちの活動がこういうものだということを見えるように、みなさんにわかりやすくしていくことが大事かなと思います。今、だんだんと出てきているメタバースを必要とする時が来るのかな、若い人は多分メタバースに魅力を感じていると思うので、そういうことができれば面白いと思います。</p> <p>あとは、人が集まることをきっかけとしたとした小さなつながりづくりということですね。この間入院した時に知ったことがきっかけなんですけど、病院に入院すると孤独で、すごく暇で、その時の入院していた人の声を聞くと、「家に帰っても何もやることがない」と言っていました。病院は人が集まる場所なので、そういった場所に必ず設置しなくても、週に何回かでも、「〇〇という団体が来ます」というように紹介できれば、そこからつながることができるというような仕掛けができると思いました。病院だけでなく、デイサービスとか図書館で何か興味を持てたり、面白いなど思ってもらえればいいのかと思います。</p> <p>そのようなつながりや、集まった場所で、小さなことでも自分のできることは何かを発信しながら気づいていく、それを周りの人が「素晴らしいですね」と称賛していくというような雰囲気づくりができるといいのかなと思います。そうすると、「ここにきてよかったな」と思ってもらえるようなつながりづくりになっていくと思いました。</p>
山本会長	<p>ありがとうございます。 それでは次にA班の発表をお願いします。</p>
正田委員	<p>【A班の発表】 A班の方では、「どのような仕掛けがあればうまくいくのか」ということで、市民に対する直接のアピールということで、団体情報の共有や、情報誌を作成する、啓蒙活動、自然体でアピールする、市民に分かりやすくという点を、市のキャラクターを活用したり、市役所や駅をイベントカラーで飾る、ホームページを活用、説明会によって理解を促進するといった意見が出ました。 市民活動を応援するためには、市民活動の活発化の推進ということで、市民活動支援センターを強化するといった意見が出ました。</p>

山本会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>市民の活動という点では、既に市民活動支援センターというものがあるのでそこを有効活用していったらどうかという意見がA班でははっきり出ました。あとは、毎年、市民活動交流会というものをやられているというので、それをもっとみなさんに知ってもらい、強化するというので、市民活動というレベルで言うと、もっと広がっていくと思います。</p> <p>やはり、知らないと広がらないし、共有もできないということが出たように思います。</p> <p>では、今日出たことが沢山あるので、まとめてみようと思います。岡田副会長の方から今日のまとめをお願いいたします。</p>
岡田副会長	<p>みなさんお疲れ様でした。</p> <p>改めて思いましたのは、普段つながらなかった分野が、実は日常の中で関係があつてということで、その分野間をつなげていくことに可能性があるということを知られました。こういったワークショップを自分の地域でもやっていきたいなと思いました。</p> <p>一方、外してはいけないと思うのが、「行政がやってくれるから」とか「専門職がやってくれるから」ではなく、住んでいる人それぞれがどのように動いていくかというところなのかなと思います。なぜなら、自分にとって過ごしやすい居場所というのはその人それぞれですし、その居場所というのも多様なものがなければならない、それは、やらされ感で作られてもきっと楽しくないですよ。そこに住民のうねりというところがまずひとつあつて、住民が主体になるような仕掛けをどのように乗っけていくかというところで、今回たくさん出てきたのがコーディネーターというところだったり、小さなつながりですけども居心地の良い人の関係をはぐくんでいく場所だったり、今、社会学では「社会的インフラ」という言葉で、言われているんですが、図書館であるとか、市民農園といった場所があつても、人と人とを結びつける場所としてデザインされていない、既存の資源をどうリメイクしていくかというのも大事なポイントになるのではないかと思います。</p> <p>私自身、色々な発想をいただいたワークショップで楽しかったです。どうもありがとうございました。</p>
山本会長	<p>とても重要な指摘だったと思います。ありがとうございました。</p> <p>私の方も考えたのですが、やはり市民へどう発信していくかというのがあつて、あとは活動をいかに「見える化」するかというのがすごく大事だと思います。活動の「見える化」や市民への発信の方法として、今日出たのは「場」の活用というのがありました。今まさに岡田副会長がおっしゃった、病院やデイサービス、図書館、それから市役所そのものも「社会的インフラ」で、こういった「場」を活用することでもっと発信できるのではないかと、いかに周知していくのかということが大きかったですね。</p> <p>それから、ホームページやふじみんを活用したらいいのではというすごくリアリティのある意見も出たし、メタバースなどを使って仮想空間で交流するというのがこれからの若い世代にはあることかもしれないといった意見も出ましたので、そういったことも考えていくのかなと思いました。</p>

	<p>あとは、行政というのもひとつキーワードでありました。行政にはすごく期待は大きく、コアな存在ですし中心的な役割もあるんですが、一方では行政のみに依存せず、それぞれいかに主体的にやっていくかという二律背反なことはありますけども、そこにいかに依存せずにやっていくかということもひとつ大事だと思います。</p> <p>あと、コーディネーターの存在というのがみなさんすごくおっしゃっていて、誰がやるのか、どこに置くのかというのはあるのですが、今回ひとつには市民活動支援センターや社会福祉協議会などもコーディネーターのひとつであると思いますので、いかに動いていくか、強化していくのかということも、これからどういう仕掛けがあればお互いがうまく連携できるのか、つながりが持てるのかということの方法論かなと思います。</p> <p>今日は大変短い時間の中でこれからの地域福祉を考えていく示唆が出たかと思しますので、ちょっと大変なのですが、事務局の方に出たことをまとめていただいて、今日出たことが何だったのかということ、次回、振り返りをしていきたいと思います。</p> <p>議題の方は以上になると思うのですが、次回お会いできるとしたら、いつになるでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度あと1、2回開催できればいいなと思っております。</p> <p>まだ決定していないのですが、年明けに1回、3月にもう1回開催したいと考えています。</p> <p>アンケート結果の速報と、報告書のまとめをご報告したいと考えています。</p>
山本会長	<p>今後またご連絡があるということですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
山本会長	<p>では、最後に事務局からご連絡事項はありますか。</p>
事務局	<p>(審議会委員報酬の振込予定等について事務連絡)</p>
山本会長	<p>5. 閉会 それでは閉会にあたりまして、岡田副会長よりご挨拶をお願いします。</p>
岡田副会長	<p>みなさん、今日は第3期計画に結び付く大事な会ということで、共有すべきことは共有できたのかなと思います。みなさんの積極的なご参加の賜物かと思います。この日のためにご準備いただいた事務局のみなさん、大変お疲れ様でした。また、みなさん大変お疲れ様でした。</p> <p>今日の挨拶はこれで終わります。どうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、令和4年度第2回ふじみ野市地域福祉計画審議会を閉会いたします。</p> <p>みなさま、ありがとうございました。</p>